

広告主名	ニッポン放送	期間	2023年6月28日～
施策名	白杖体験篇	地域	全国
施策に該当する ゴールナンバーに○	1・2・③・4・5・6・7・8・9・10・⑪・12・13・14・15・16・17	媒体	ラジオ

## 1. 課題策定までのストーリー（社会課題をどう捉えたのか）

## 目の不自由な方が 安心して街を歩けるようにしたい



1975年にスタートしたニッポン放送のチャリティー番組「ラジオ・チャリティー・ミュージックソン」では、目の不自由な方たちが安心して街を歩けるように「音の出る信号機」を設置する基金を募る活動を続けている。しかし、目の不自由な方々が生活する上での障壁は、まだまだ世の中から理解されていない。

## 2. SDGs目標達成につながる広告制作物や施策内容

## 白杖を持って歩くことを 疑似体験できるラジオCM

実際に白杖を持って街を歩いてみると目の不自由な方々の障壁がよく理解できるが、そのような機会をつくることはなかなか難しい。そこで、ラジオというメディアの特性を活かして、音声だけで手軽に白杖を持って歩くことを疑似体験できるラジオCMを制作した。白杖利用者や大学教授にインタビューをして、実際の利用シーンやリアルな悩みを再現した。

## 3. 成果や反響（社会に対するインパクト、社外からの評価、社内からの反応などをご記入ください）

## 聴取者や社外から多数の反響を獲得

聴取者からは「音だけの特性が活かされているラジオだからこそ表現できる広告」「CMではあるんだけど、目を閉じて聞き入ってしまいました」などの反響が寄せられた。さらにJAA広告賞（消費者が選んだ広告コンクール）では経済産業大臣賞とJAAグランプリをW受賞した。ラジオCMから経済産業大臣賞が選出されるのは、第61回の歴史の中で初となった。また、2023年上半期ギャラクシー賞候補作品に選出されるなど、社外からも評価されている。

## 自由表記

- ・実際に街中で白杖を使って歩きながら収録した。
- ・音声だけで白杖利用者が置かれている状況を再現することで、白杖を体験するハードルを大幅に下げることができた。